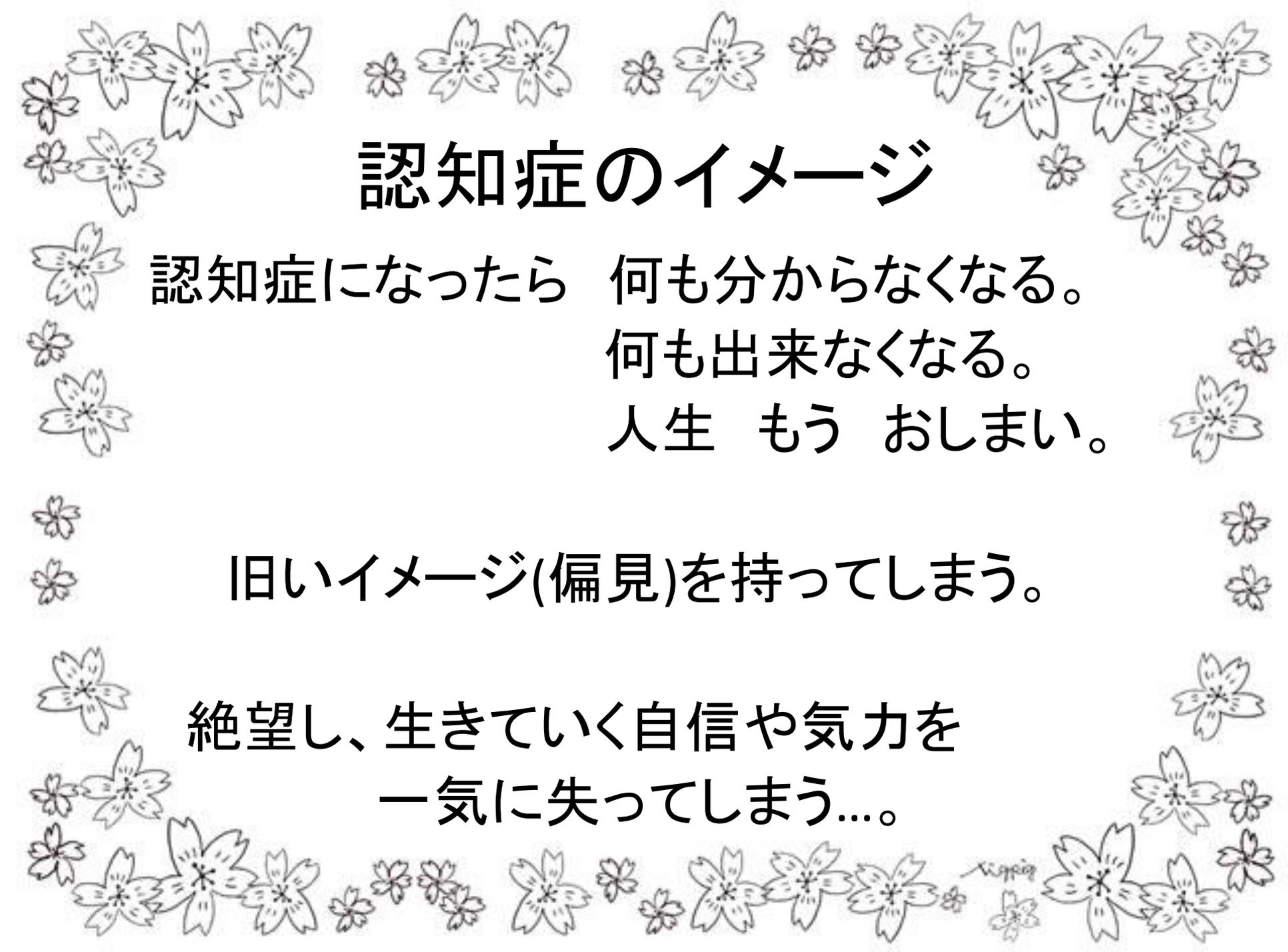


認知症ケア

認知症疾患の理解について

ショートステイゆきよし とやの
佐々木静香



認知症のイメージ

認知症になったら 何も分からなくなる。
何も出来なくなる。
人生 もう おしまい。

古いイメージ(偏見)を持ってしまう。

絶望し、生きていく自信や気力を
一気に失ってしまう...



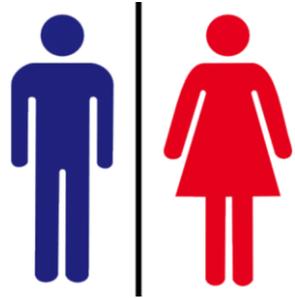
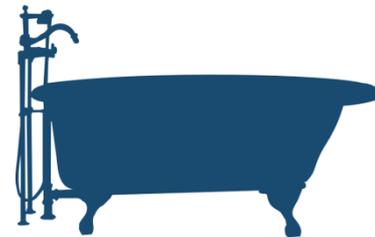
病気になったからといって、
いきなりすべてが分からなくなる...
できなくなる.....

わけではありません。

できないことは割り切り「まだできること」に目を向け、「その方なりにできること」をたくさん見つけてあげましょう。

認知症という病気になると...

- 同じことを何度も聞いたり、言ったりする。
- トイレ以外の場所で排泄をしてしまう。
- ご飯を食べたのに「食べていない」と言う。
- 食べられないものを食べてしまう。
- 服を裏表(前後ろ)間違えてきたり、いっぱい重ねて着てしまう。
- お風呂に入らなかつたりする。





- 本人は決して「間違っただけをしよう」
「誰かを困らせてやろう」

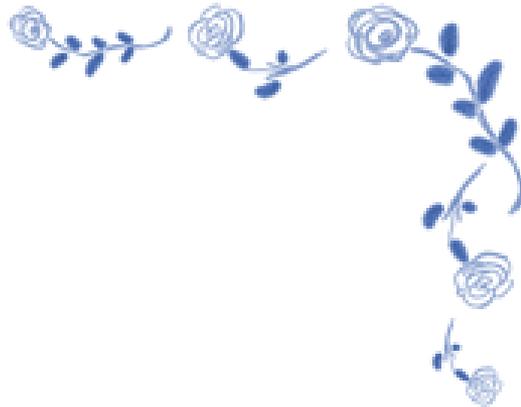
とは思っていません。

「わからなくなった」わけではなく、
「わかりにくくなった」だけ。

その中で 目の前の環境に適応しようと一生懸命考え、自分なりに正しいと思うことをしている。 →否定されたら怒りだすのは当然！



認知症の定義



「認知症」とは老いに伴う病気の一つ。

さまざまな原因で脳の細胞が死ぬ、または働きが悪くなることによって、記憶・判断力の障害が起こり、意識障害がないものの社会生活や対人関係に支障がでている状態（およそ6カ月以上継続）をいう。

利用者を知ることは職務です！



tippig





私たちは常に「記憶」を
に生活している。

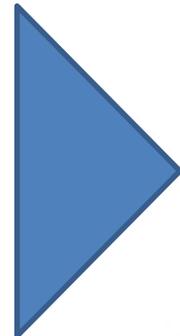
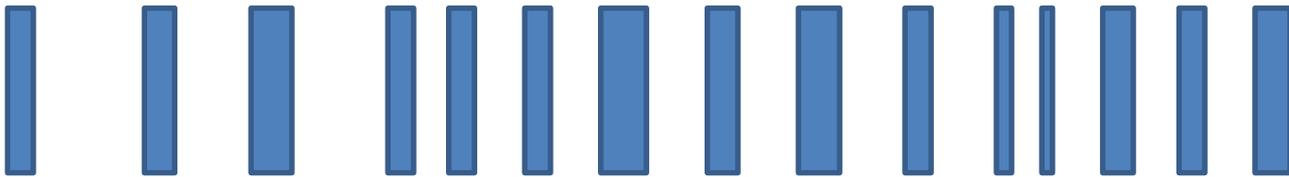
通常の記憶



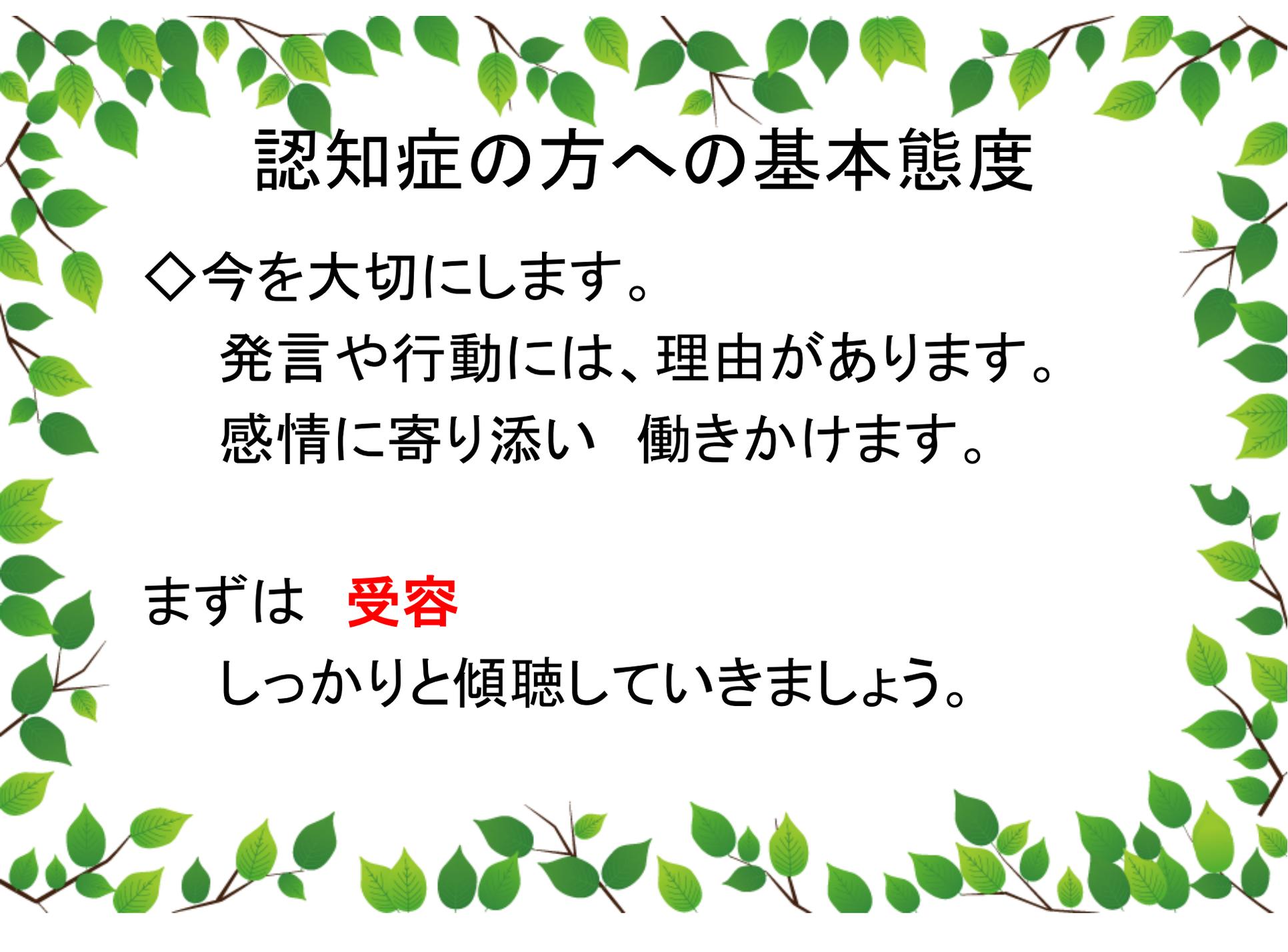
過去

現在

認知症の人の記憶



記憶が“ ”から“点”に断片化されてしまう



認知症の方への基本態度

◇今を大切にします。

発言や行動には、理由があります。

感情に寄り添い 働きかけます。

まずは **受容**

しっかりと傾聴していきましょう。

中核症状により生活障害が生じる

中核症状

記憶障害 見当識障害 注意機能障害
失語 失行 失認 等

心理・行動症状

中核症状

BPSD

生活障害

それ故に個人的・社会的活動と社会参加を困難に
日常生活上の障害

中核症状

脳の細胞が壊れることによって直接起こる症状

記憶障害

短期記憶が失われる。比較的、長期記憶は保たれる。

見当識障害

年月日や季節、曜日、時刻、自分がいる場所、人と自分の係等が分からなくなる症状

理解・判断力の障害

物事を適切に理解し、判断することが難しい。

実行機能障害

日常生活の中で、目標を決めて計画的に何かをすることがきなくなる。

感情表現の変化

その場の状況がうまく認識できなくなったり、表現の仕方がわからなくなり、周りの人が予測しない、思いがけない感情の反応を示す。

心理・行動症状(BPSD)

脳の病変が直接の原因でなく、いろいろな中核症状が原因で起こる症状

猜疑心・妄想・不安・不穏・興奮
暴力・徘徊・帰宅願望・幻覚
不眠・異食・抑うつ・拒否

心理的ストレスは大きな影響を与えるので

介護者の対応は重要です！

生活障害の理解

「食事を食べ始められない」

中核症状

生活上の障害

ケア

語理解の
低下

食べて下さいと
いう言葉が分か
らない為食べ始
められない

・「どうぞ」と
いうだけ
・ゆっくり
・しぐさで伝える

注意機能
障害

食事に集中でき
ずに立ち上るた
め、食べ始めら
れない

・静かな環境で食
べてもらう
・人が目の前を行
き来しない場所
で食べてもらう

生活障害の理解

「食事を食べ始められない」

中核症状

生活上の障害

ケア

半側空間
無視

声をかけられて
いることに気付
かず食べ始めら
れない

・声をかける方向
を変える

時間の見
当識障害

今ここでご飯を
食べていていい
かわからないた
め、食べ始めら
れない

・今後のスケ
ジュールを伝える
・今の時間を
伝える

生活障害の理解

「食事を食べ始められない」

中核症状

生活上の障害

ケア

観念運動
失行

食べて下さいと言われると体が動かないため食べ始められない

・食べ始めてもらうまで待つ
・スプーンを渡す

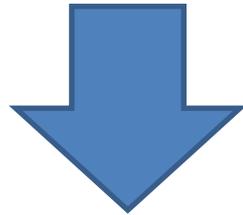
物体失認

ご飯が食べ物に見えにくいいため、食べ始めようと思えない

・ご飯にふりかけをかける
・器の色を変える

例) 便秘のためそわそわして
「夫が待っているから帰ります」

- 情報収集分析から「便秘」の影響を見出す。
- 夫が待っているという理由づけをしたのは何故か



「夫が待っている」という表面上のニーズの裏を
分析する。

排便＝安心した場所でしたい＝家＝夫待っている

BPSDからこそ価値観を類推できる

本人が訴えていることそのものに その時の体験が反映される。

- 受けとめること(デマンド)をないがしろにしない
 - BPSDの中にあられる言葉や行動は本人が大切にしたいことや大切にしてほしいことが反映されている可能性が高い。

関わり方の大切なポイント

・病気の特徴を理解して！



・プライドを傷つけないで！

・出来ることを大切にしよう！

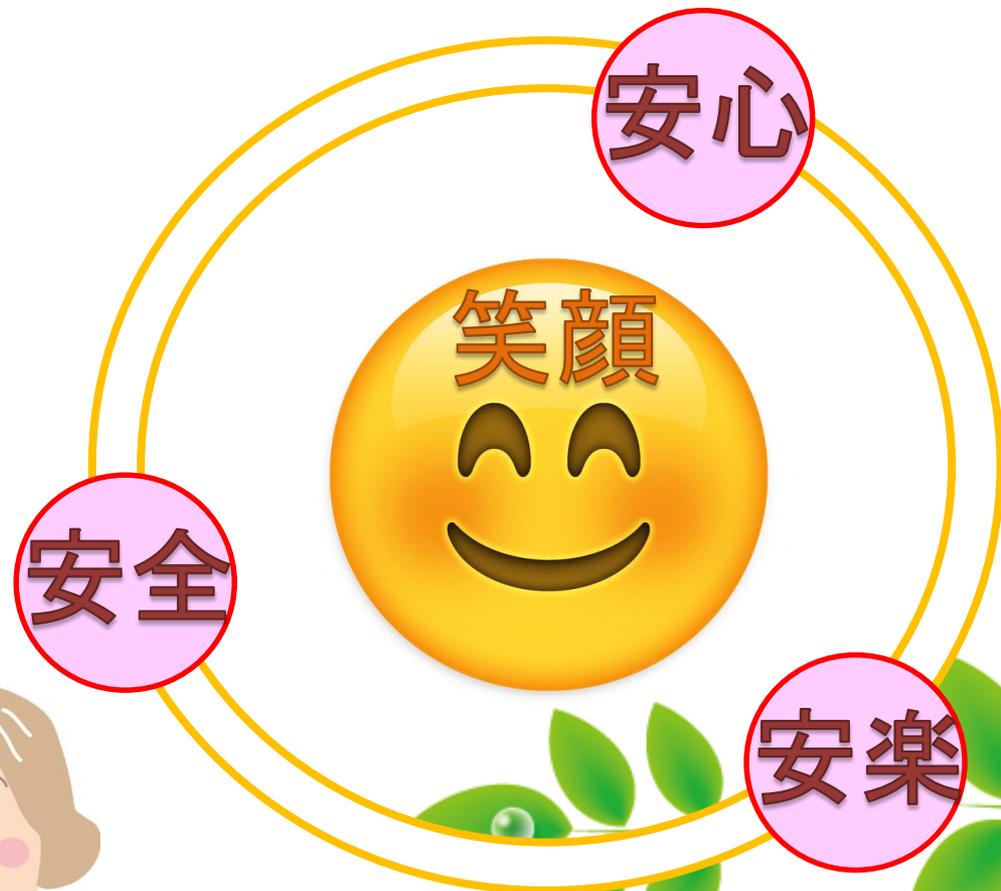


認知症の人を理解できるのか

- ・認知症があってもなくても、相手と自分は体が違う。
完全に理解できることは不可能。
- 「本人本位のケアが出来なくてもしょうがない」
完全に理解できないからこそ、理解しようとし続ける。
- 認知症の方の言葉・行動は すべて本人の発信ととらえ、ヒントをくみ取りましょう。

介護職は 観察で始まり、観察で終わります。

私たちが心身の健康を保ち、チームケアを行うことが
利用者の安心・安全・安楽につながっています



ご清聴ありがとうございました